

海産魚の多くは、淡水魚と比べて飼育や種苗の生産が難しいため、実用的な毒性試験に使用可能な海産魚はあまり多くありません。そこで、飼育や仔魚の取扱いが比較的容易な海産魚であるブテラポゴン・カウデルニイ(テンジクダイ科)を選定し、3物質について急性毒性試験を行いました。試験物質を含んだ海水で本種の稚魚を96時間飼育した時に半数が生き残る試験物質濃度(96時間半数致死濃度)を算出し、その値と他の海産魚で得られた値を比較したところ、本種は他の魚種と比較して化学物質に対する感受性が同等もしくは高い種であると考えられました。水環境中の化学物質影響を評価する際の試験生物の選定条件として、化学物質に対する感受性が高いことは、化学物質の有害性をよりの確に見積もる上で極めて重要です。また、本種の稚魚は、前述のように、ハンドリングに比較的強いなどの特徴を有することから、毒性試験に用いる海産魚として多くの適性を有すると考えられます。

(中央研究所 海洋生物グループ 岸田 智穂)



ブテラポゴン稚魚の写真。トリブチルスズ化合物を用いた試験の風景。体長は、1cm程度。

海生研は、発電所の取放水等が海の環境や生息する生物に与える影響を科学的に解明する調査研究機関として、昭和50年に財団法人として設立されました。

平成24年4月からは公益財団法人に移行しました。科学的手法に基づき、エネルギー産業等における沿岸域利用の適正化と、沿岸海域等の自然環境、水産資源、漁場環境の維持・保全に寄与することを目的として、これまで以上に長期的な展望を踏まえた計画的な学術調査研究を推進し、成果を公表してまいります。

海の豆知識 第65号

平成27年10月 発行

発行所

公益財団法人 海洋生物環境研究所

事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町347 藤和江戸川橋ビル7階 ☎(03) 5225-1161  
 中央研究所 〒299-5105 千葉県夷隅郡御宿町岩和田300 ☎(0470) 68-5111  
 実証試験場 〒945-0017 新潟県柏崎市荒浜4-7-17 ☎(0257) 24-8300

海の豆知識に関するお問い合わせは、事務局までお願いします。

<ホームページ> <http://www.kaiseiken.or.jp/>



かいせいけん

# 海の豆知識

## Vol.65

★★★魚のことわざ★★★



公益財団法人  
海洋生物環境研究所

# 魚のことわざ

〈その58〉

## ——ハタハタ——

海とその生物にまつわる<sup>ことわざ</sup> 諺や<sup>かくげん</sup> 格言についてお話ししましょう。

今回は、ハタハタ(スズキ目ハタハタ科ハタハタ属、学名: *Arctoscopus japonicus*、英名: Sailfin sandfish)をご紹介します。ハタハタは、日本海や北日本の太平洋側からカムチャッカ、アラスカの水深200~400mの砂泥底に生息し、主に日本海側で漁獲されています。体長は20cm前後になり、左右に扁平な体型の背中には不定形の褐色の斑紋があります。また鰓蓋に5本の鋭い突起があります。11~12月にかけて浅場の藻場に集まり、産卵します。

昔から冬の到来を予感させる雷鳴轟く大荒れの時期に、産卵のために大群で浅場に押し寄せるこの魚は、はた神(激しい雷鳴のこと)の魚と考えられ、ハタハタと呼ばれるようになったそうです。漢字では、魚偏に神「鮓」の字が用いられます。またカミナリウオとも呼ばれ、魚偏に雷「鱧」の字も用いられます。

秋田県を中心とする日本海北部では、季節ハタハタ漁として、11~12月頃、浅場に押し寄せた群を定置網や刺し網により漁獲しています。この時期のハタハタは、「ブリコ」と呼ばれる卵を持っており、ねっとりとした舌から濃厚な旨味が人気です。これに対し、鳥取県を中心とする日本海西部では、餌を求めて深層を回遊しているハタハタを底引き網で漁獲するため、ブリコを持たない分、身には脂がのっており、漁期も9~5月頃となっています。

ハタハタは、クセがない白身で甘みがあり、また身離れがよく鱗もないため、塩焼きや干物、田楽、煮魚など様々な形で食されています。特に、ハタハタを塩漬にして発酵させた魚醤を用いた「しょつつる鍋」は、秋田名物として有名です。また、冬を迎える一時期に大量に獲れたことから、古くから塩漬や味噌漬、飯鮓として雪深い冬の間の貴重なタンパク源とされ、現在も郷土料理として息づいています。



### 1 <sup>すし</sup> 「鮓ハタハタのようだ」

何時ものりくらりとして働きもせず、寝ては食い、食っては寝ているような怠け者を「鮓ハタハタ!」と嘲笑するという言葉。ハタハタ鮓は、桶に漬けられ上から重石を載せ、長期間(約1ヶ月)寝かせておく。そのために、旨いハタハタ鮓も怠け者の代名詞にされてしまった。ハタハタ鮓は飯鮓である。



### 2 <sup>おが</sup> 「男鹿でハタハタ」

他人事は、自分に無関係の意。男鹿(秋田県)でハタハタが如何に大漁であっても、その好景気に浴せるのは地元の男鹿だけで、漁場から遠く離れた地方では何の恩恵もない。



### 3 <sup>もら</sup> <sup>そん</sup> 「貰ったブリコで損をした」

〈秋田地方の諺〉。「ただより高いものはない」ということ。今年もハタハタの季節がやって来て、浜の人から贈られた。その好意に謝して返礼したら、近所の魚屋で買うハタハタより高かった。よくある話である。